

## 出題の意図

### 看護学部 アドミッション・ポリシー

#### ①知識・理解

入学後の就学に必要な基礎学力を有している。高等学校で履修する国語、数学、理科、外国語などについて、内容を理解し、高等学校卒業相当の知識を有している。

#### ②思考・判断

さまざまな問題に立ち向かい、多面的かつ論理的に考察することができる。

#### ③関心・意欲

人間の生命と健康に深い関心を持ち、積極的に社会貢献する意欲がある。

#### ④態度

豊かな感性と誠実な態度で、積極的に他者と関わることができる。

#### ⑤意欲

看護学を主体的・創造的に学ぶ意欲を有している。

#### ⑥表現

自分の考えを的確に表現し、伝えることができる。

### 出題の意図

上記アドミッション・ポリシーの①・②・⑥に該当するかを判断するための問題です。

まず、①（知識・理解）に関しては、高等学校の家庭科や公民科の授業を通じて、少子化問題についての基礎知識を習得できているかを問う設問となっています。

次に、②（思考・判断）に関しては、問題1で、人口ピラミッドの形が変化した要因を考察することを求め、問題2で、その要因と関連付ける形で、少子化問題解決のために必要な対策を考察することを求めています。人口ピラミッドの形の変化には、複数の要因が複雑に関係しています。また少子化は、今後の日本社会に深刻な影響を与えうる問題であり、現在も国や地方自治体により、多岐にわたる対策が講じられています。それだけに、問題1と問題2では、多面的かつ論理的な考察力が求められていると言えます。

そして、⑥（表現）に関しては、問題1・2共に、400字という比較的少ない字数の中で、説得力のある論述を求める設問となっています。自分の伝えたい内容を絞り込み、それらを的確に表現していくことが肝要です。